

令和6年度 第4回 理事会議事録

日時:令和6年8月27日(火)19:00~20:30

場所:ZOOM(オンライン)

出席:(理事)磯野、高村、小林(司)、井村、有泉、大西、鮎川、
上田、平賀、渡邊、鈴木、菊池、古屋、小林、山下
(部長、副部长)瀧口、藤原、丸茂、平賀、大野

書記:山下

会員管理情報

慶事0件 弔事0件

施設数 153 会員数 947 名(施設 901 名 自宅 46 名)

磯野会長より挨拶

田中まさし参議院議員の秘書の内藤さんから連絡をいただき、10月9日・10日に山梨にお見えになる予定。連盟で訪問施設を調整していただいている。しかし、臨時国会の開催によっては難しくなることもある。

今回も活動の予定や報告があります。よろしくご審議ください。

I. 審議事項

1. 局部の会計書類についてLINEWORKSでのファイル管理で実施について:財務部

審議

各局・部の会計報告について3ヶ月に1回郵送で提出して頂いていたが、会計士に問い合わせを行った結果コピー等でもよいと提案があった。業務負担等の軽減のため、今後提出をLINEWORKS上での提出実施に変更したい。データはEXCELまたはPDFで提出。提出場所を決めて毎月ファイルに提出をお願いしたい。年度末に原本は判子を付いて提出。

① 提出毎月10日まで(局長は確認 判子は不要)

② 資料はEXCELまたはPDFで提出

③年度末3月に全て原本を財務部に提出(3月20日まで 判子をつけて提出)

④講師の謝金の源泉については送付をお願いしたい。

質疑

・いつから開始されますか？

→今月分から開始を考えています。

・LINEWORKSを使用できる人が限られているが、今後、使用できる人を広げていく予定はあるのか？

→使用者を増やすことで金額もかかってしまうため、局長・部長までで行っていきたく考えている

・7月分から8月分までを10日までに入れるので良いか？

結果

・LINEWORKSを使用し進めていく。

2. 2024年度第3回学術研修会事業報告について:学術研修部

日時:10月27日(日)10:00~16:00

場所:桃源文化会館

講師:山本 周平先生(信州大学医学部附属病院 リハビリテーション部 副療法士長)

テーマ:循環器疾患の運動療法~心不全フレイルを含む

カリキュラムコード:区分 8-105 循環器疾患の理学療法

受講費用:県内会員 1,000 円、県外会員、非会員 2,000 円、学生無料

審議

今回、循環器疾患においても主に心不全患者に対する運動療法の進め方、レジスタンストレーニングにおける留意点および評価から治療への臨床推論の過程ならびに多職種への情報共有の方法について、実技のデモンストレーションやグループワークを通じてご教示いただく予定である。心リハを行っている急性期に従事する理学療法士だけでなく、回復期、慢性期で心不全を合併した症例を対応するセラピストにも有用な研修会になると考える。なお、参加費用及び運営方法は開催規定を踏襲する。

質疑

・特になし

結果

・研修会の内容について承認。

3. 2024年度第1回学術研修会の開催可否の件:学術研修部
現在日本列島に接近している台風10号の影響により、9月1日の学術研修会の開催が困難な状況になりえる。

審議

・研修会の開催可否の判断についてご検討いただきたい。再度西川先生と研修会開催方法について協議させていただきたいと考える。例として、①日程変更による対面研修開催、②当初の予定通りの日程でオンライン開催へ切り替える、などを提案していく。

質疑

・特になし

結果

・健康科学大学の地理的な状況を考え、山間でもあるため安全策を第一に考える。県士会としては、別日での対面開催を希望したが、講師の先生と検討していく。講師の先生と検討した結果については、LINEWORKSで共有する。

4. 山梨県理学療法士会災害マニュアル(士会員安否確認、災害対策本部設置等)について:災害対策支援委員会
災害マニュアル、士会員安否確認、安否確認フローチャートについて資料提示あり。

審議

年々、大規模災害や局所災害が増加している。幸いにも山梨県は大きな被災はしていませんが南海トラフ地震が起こる可能性が高くなっている中、大規模災害や局所災害に対して備える必要がある。現在、災害対策支援委員会では山梨県理学療法士会災害マニュアル、士会員安否確認のシステムを作成している。

委員だけでは決めかねる事項がありますので理事会でご意

見をいただきたい。

質疑・意見

・災害対策本部はどこにしたらいいか？事務所まで行ければいいが災害時には難しことも考えられる。そのため、オンラインでもいいので会議を行い、対策本部を設置し活動を開始した方がいいと思う。

・本部は事務局長がいるところか、災害対策委員会の委員長がいるところがいいとは思いますが、災害の状況に合わせて動けるようにしておいてもいいのではないかと。

・OTとSTとの連携も検討してはどうか。

・JRATでは本部から要請があり活動が開始されるが、県士会として何をやるのかは全く決まっていなかったため、県士会として考えていく必要がある。提案頂いてよかったこととして、各施設長などの横のつながりを作ることを考えている中で、災害にも対応できるようになるといい、いい提案をいただいた。

結果

・暫定的に事務局もしくは委員長の所属病院で本部を考え、マニュアルを再考していく。横のつながりを作っていく中で、安否確認の方法など検討していく。

5. 第44回 関東甲信越ブロック理学療法士学術大会 in 山梨コンベンション委託会社について:第44回 関係プロ準備委員会

最低限のサービスで約1000万円という金額が掛かる。サービス以外の部分は、山梨県士会員の皆様のご協力を頂きながら、準備を進めていかなければならない。

審議

「学会サービス」、「コンベックス社」に見積もりやヒアリングを行ってきた。学会サービスとコンベックス社で見積もりに大きな差額はなく(コンベックス社の方が若干低予算)、信頼と実績からコンベンション委託会社は『学会サービス』に依頼していく方向で準備委員会としては意見が一致した。理事会での承認をいただきたい。

質疑・意見

・10年前の関プロにおいても学会サービスに依頼した際も、対応が非常に良かった。また実績もあるため安心して進められると思う。

・お金があれば、業者にできるだけお願いしたいが、予算的にもギリギリのため、皆様に協力していただき進めないといけない。

結果

・学会サービスに依頼をおこなっていく

6. パソコンの入れ替えについて:事務管理局

現在、事務管理局で管理している3台のパソコンについて、動きが遅くなっており、業務に支障が出始めております。導入から年数も経っているため、リースまたは購入の検討を行った。

審議

リースと購入の検討を行った結果、リースの方がアフターサ

ービスも含めた今後の運用に適していると判断し、リースでの導入を行っていきたい。

富士観光開発株式会社 3台5年リース 月9,000円(税別、アフターサービス込み)

初期設定とデータ移行 1台15,000円 3台計45,000円(税別)

今後、士会のパソコンの管理状況を確認し、順次、事務管理局の管理でのリースへの切り替えを行っていきたい。

質疑・意見

・リースの方がいいのではなかとと思うが、計画的な入れ替えと、予算を確保してもらいたい。

・Windows10のサポートが来年終わる予定のため、その時期はパソコンが品薄になることも考えられるため、計画的にしたほうがよい。

結果

・士会で使用しているパソコンを事務管理局の管理のもと計画的に入れ替えを行っていく

7. 山梨県理学療法士会承認セミナー開催について:生涯学習局

日時:令和6年9月4日(水) 開始17:30 ~ 終了18:30

会場:山梨リハビリテーション病院

講師:石崎利幸(山梨リハビリテーション病院)

内容:ICFの活動と参加を考える

カリキュラムコード:5-61(個人因子と環境因子)

審議

院内勉強会をポイント申請対象としたい

質疑

・特になし

結果

・研修会の内容について承認。

II. 報告事項

1. ①令和6年度山梨県地震防災訓練第1回関係者会議出席

②令和6年度第2回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会報告:災害対策支援委員会

①令和6年度山梨県地震防災訓練第1回関係者会議出席

日時:令和6年7月12日(金)13:30~15:00

場所:身延町総合文化会館

参加:OT 磯野(JRAT事務局)、ST 赤池(医大)、PT 大野
地震防災訓練関係者会議について、第1回目会議では訓練の詳細が決まっておらず、関係機関との顔合わせ、福祉避難所訓練会場の見学を行う。10月頃に第2回目の関係者会議があり、福祉避難所訓練の詳細が決定後、山梨JRATでの参加人数、訓練内容を検討していく。第2回目も関係者会議に参加予定。

②令和6年度第2回山梨県災害リハビリテーション支援関連団体協議会運営委員会

日時:令和6年7月29日(月)19:00~20:00

場所:オンライン会議(ZOOM)

参加:磯野会長、山下事務局長、大野

議題:

①令和6年度能登半島地震災害における費用弁済について

②2024年度正会員および賛助会員

③R・D・Lスタッフ養成研修について

④2024年度山梨県地震防災訓練について

⑤2024年度山梨JRAT研修会について

その他

1、第8次山梨県地域保健医療計画について

2、大規模災害時の保健医療福祉活動に係る体制の整備について

①令和6年7月31日までに費用弁済完了予定。山梨県JRATでは5チーム派遣。

②正会員5団体、賛助会員17法人19施設

③R-スタッフは山梨県言語聴覚士会で1名申し込み、もう1名調整中。D-スタッフは現在4名登録済み。L-スタッフは現在5名登録済み。登録施設に偏りがないように進めていく。REHAG研修参加者にも声掛けをして登録を呼びかけていく。REHAG研修の開催も企画していく。

④上記に記載

⑤山梨県2024リハビリテーション・ケア合同研修会を後援予定で検討していたが、研修会を運営するにあたり、申込者がシンポジウムのみに参加できるようにすることが難いため再度検討。昨年度と同様に、専門職団体協議会とのREHAG研修会の共同開催を視野に再検討する。

2. 令和6年度第2回がんリハビリテーション推進委員会

会議報告:がんリハ推進委員会

開催日時:令和6年8月14日(水)19:00-20:00 Zoom

参加者(敬称略)

山田洋二委員長(帝京科学大学)、遠藤浩委員(山梨大学医学部附属病院)、中島秀太委員(山梨県立中央病院)、宮下良美委員(どちペインクリニック)、上田修理事(恵信リハビリテーション病院)

議事内容

令和6年度事業計画の確認。

1) 研修会進捗状況について

日時と講師決定について山田先生より報告

2025年3月11日火曜日

静岡県立静岡がんセンターの田尻寿子先生(OT)、米永悠佑先生(PT)

2)NPO 法人がんフォーラム山梨主催「山梨がんフォーラム」への参加(10/6, 12/22)

2. 審議事項

1)研修会開催の日時・開催場所・方法の検討

・時間:18時30分~20時:30分

・開催場所:大学病院や中央病院で可能か確認中。

その他会場として、山梨地場産業センターかいてらす・山梨

市民会館・大木記念ホール・山梨県立やまなし地域づくり交流センターが候補

・開催方法:ハイブリッド式 収容人数(30-40名)

その他検討内容

・講師の先生の旅程確認と登録理学療法士・生涯学習ポイント付与できるか確認をする

2) 山梨がんフォーラムへの参加

・2024年10月16日・12月22日の2日に参加予定

・がん患者会のがんサバイバーの方への運動指導や質問などに答える

運動指導については、山梨大学リハビリ部協力にてロコモ評価キットを使用させて頂く案で検討している。立ち上がり、2ステップ、アンケートで評価しパンフレットでフィードバックする。その他に握力測定やリンパ浮腫に興味のある方などには周径評価も並行して行う。

※参加者はリピーターが多いため、データを保存しておく

次回会議日程:9月11日19時~20時

質疑

・ハイブリッド式の開催は大変だと思うが大丈夫か?特に通信状況が大きく左右され、以前、外部からWi-Fiを借りたが、トラブルも多かった。また、費用面やスタッフの負担も大きかった。

→経験したスタッフもあり、通信環境が整った場所を検討してる。次回会議で、詳細を検討してく。

・3月11日は災害の研修が入ることが多いが大丈夫か

→スタッフ・講師の都合で日にちが限定されている。

3. 2024年度士会支部主催症例検討会(中西部支部)実施報告:士会支部局

2024年度第1回中西部支部主催症例検討会

開催日時:令和6年7月25日(木)19時~20時

開催方法:オンライン(Zoom)

発表者:花形裕先生(フルリール甲府)

参加者:16名

ポイント付与種別:症例報告 脳血管疾患

発表15分、質疑応答40分ほど取り、1症例に対して深く掘り下げるような開催方針とした。また事前に座長・発表者で顔合わせを行い、検討のテーマやポイントを共有することで、話題が広がりすぎないように座長に調整していただいた。

士会支部局主催の症例検討会では若手の発表を想定しているため、臨床活用できるような質疑になるよう引き続き計画をしていく。

質疑

・40分の質疑応答は座長も大変だったと思うが、どのたが座長をしていただけたのか

→甲州リハの内田さんが対応していただき、非常にうまく、周囲を巻き込みみんなで検討する形が作れてよかった。発表者からももっとディスカッションしたかったと好評であった。

4. 1)国際ジュニアテニス大会について

- 2) 第 78 回スポーツ理学療法勉強会について
- 3) 成長期のスポーツ障害予防講習会・講師養成講習会について: スポーツ理学療法部

- 1) 大会名: ITF Juniors in Japan U18 Week-1
対応日: 令和 6 年 7 月 8 日(月)～7 月 14 日(日)
会場: クラブヴェルデ(北杜市)
対象: U18 男女シングル、ダブルス参加選手 128 人
出向者: 小林幸一郎、古屋美里留、古屋伴仁、大森英功、齋藤恵介、柳館匠、山下太輔、安藤駿、森田伸哉、
対応件数: 50 件
- 2) 開催日: 令和 6 年 9 月 3 日(火)
開催場所: 19:00～21:00 ZOOM(ウェビナー)で開催予定
テーマ: 「アスリートのメンタルヘルス支援～指導者やトレーナーに知っていただきたいポイント～」
講師: 北里大学メディカルセンター精神科 副部長 山本宏明先生
申し込み期限: 令和 6 年 8 月 23 日(火)
- 3) 標記講習会に各県から推薦者を上げるよう依頼あり。
開催日: 令和 6 年 9 月 21 日(土)9 時 15 分～12 時 30 分
開催場所: オンライン
対象: 日本理学療法士協会会員でスポーツ現場の活動を有するもの
目的・内容: 別紙参照
推薦締め切り日: 令和 6 年 9 月 3 日(火)
山梨リハビリテーション病院の古屋先生を推薦した。

5. その他

2024 職場における腰痛予防宣言！参加の報告
腰痛予防に協会として取り組んでおり、今年で 4 年目となる。
厚生労働省の後援ももらっている。協会の定めた活動を行っている
と、協会から認定がもらえる。
銅メダルはポスターの掲示のみで可。銀メダルは他職に対しての研修を実施。
金メダルは職場の腰痛リスクの見積もりと改善策の提案(厚生労働省のチェックリストあり)。
認定されると銀メダル以上は認定証がいただける。
実施している病院があるのであれば、参加してもよい。
山梨県では 1 施設のみ認定されている。

- 6. ①ZOOM 予約について: ヤファーカレンダーは廃止し、LINEWORKS のカレンダーの設備予約に集約したい。

質疑

- ・各部局、委員会の事業は LINEWORKS のカレンダーに集約されるべきなのか?
→ 県士会として情報共有ツールを LINEWORKS にしているため、カレンダー集約していく
- ・全体を把握するには、部長まで入ったトークルームを作る必要があるのではないか
→ 全体カレンダーが作ってあるので、そちらで登録してもらいたい。再度、手順を明確にしてアナウンスする。

②中間監査について: 中間監査報告は LINEWORKS の「監事・理事・委員会」のトークのフォルダ内に「監査関係」のフォルダを用意しました。会長・副会長・各局および常設委員会でそれぞれ原本をコピーし、赤字で入力しそれぞれフォルダ内に保存をお願いします。期日は 10 月 15 日(火)まででお願いします。10 月の理事会にて審議とさせていただきます。

③各部局のデータ管理について: 事務管理局で外付けの SSD を購入させていただきました。それぞれの部署で管理されているデータのバックアップを取っておきたいと思えます。理事会が集合開催の際にデータの入力をお願いしたいと思えますので、準備をお願いします。

次回: 9 月 24 日(火) 19:00～